

めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所
TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243
E mail miraikenshiwa-mirai.com



紫波のまち 紫波のひと

昔、「志和牛」というのは、全国的に知られたブランド牛でしたが、いつのまにか遅れをとってしまいました。

そこで、JA岩手中央・肉牛部会の中の「しわ牛研究会」では、どうにかして「志和牛」を復活させたいと知恵を絞りました。研究会では、生産高が日本一のヒメノモチを牛に食べさせて、おいしい牛肉はつくれないだろうか？ブランド化はできないだろうか？と、試行錯誤をくりかえし、「しわもちもち牛」が誕生しました。管内の繁殖農家では、母牛、子牛に地域で生産されたもち米のホールクロップサイレージを給与しています。穂が付いたままのもち米を刈り取って、サイレージ化すると、発酵してほんのりと日本酒の香りがし、牛達はよこんで食べます。こうして健康に育てられた子牛は、管内の肥育農家で肉牛として肥育されます。

肥育農家では、粉碎したもち米を穀物飼料に配合し、もちワラとともに餌として与えます。

しわ牛研究会

こうして「しわもちもち牛」は、脂がしつこくない、甘みとコクのある上質な牛肉という評価をいただいています。「しわもちもち牛」は、毎月第一土曜日から約一週間、「産直めぐり志和」、「松本精肉店」、岩手畜産流通センター「ジョバンニ」で町内販売されていますし、JAサンフレッシュ都南、Aコープ飯岡駅前店「純情館」では、いつでも買うことができます。ラ・フランス温泉館果里ん亭では、しわもちもち牛入りコロッケが人気です。

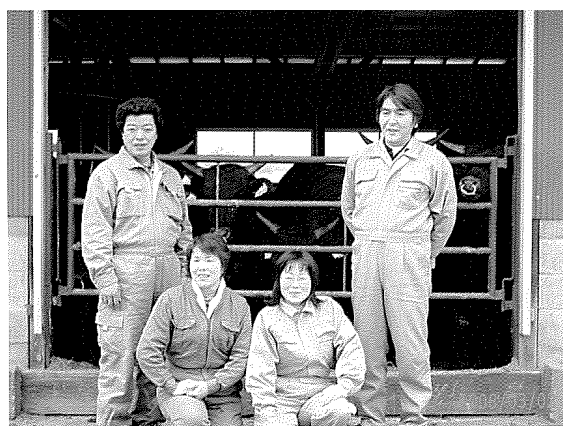
紫波町には、水田がたくさんあります。地元で生産されるワラや、米をフルに活用して、子牛の生産から肥育まで地域で一貫して、紫波町でしか作れない安全でおいしい牛肉生産を目指して、私たち農家はがんばっています。

「しわもちもち牛」をよろしくお願いします！！

(しわ牛研究会 細川)

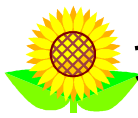


しわもちもち牛



しわ牛研究会のメンバー(会員は全部で9農家)





紫波町循環型まちづくり見学会

平成21年6月30日(火)、紫波町循環型まちづくり見学会(21人参加)を開催しました。

この見学会は、NPO 法人紫波みらい研究所が紫波町から委託を受け、企画運営を行った事業です。町民の皆さまに、もっと紫波町の循環型まちづくりを知っていただくことを目的に企画しました。

最初に、町内で排出される家畜(牛、豚、鳥)排泄物、事業系食品残さ、もみ殻等を原料として、約3カ月かけて堆肥を製造している「えこ3センター」を見学しました。また、町産木材100%を使って、町内の建築関係者が建設に係わった「虹の保育園」も見学しました。参加した皆さんは、遊戯室天井の樹齢200年の南部アカマツ大梁に驚きの声をあげていました。

その後、「えこ3センター」の堆肥を使用し、果物やワインを醸造するためのぶどうを生産している「紫波フルーツパーク」を見学し、ぶどう生産者やワインの醸造工程のお話を聞きました。

ふだん見ることのない施設を見学し、「循環型まちづくり」に対して理解を深めていただきました。施設があれば、それですべて完成ではなく、町民みんなの行動も大切だということも知っていただきました。

秋にもう1回開催しますので、興味のある人は、紫波みらい研究所までご連絡ください。



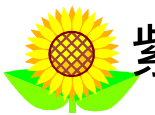
えこ3センター堆肥製造施設



虹の保育園



紫波フルーツパークぶどう畑



紫波町循環型農業生産物普及事業

紫波町の産直施設などをつくる紫波町循環型農業生産物普及協議会(高橋淳会長)では、町内産の堆肥で育てた農産物の登録制度を今年度からスタートしました。

町内のほ場で有機堆肥を使用して生産された農産物の付加価値を高め、農産物の販売向上と所得向上に努めることを目的としております。

農産物の生産者が協議会に申請すると、登録証とほ場に設置する看板や産直のコンテナに表示するための町内産堆肥使用マークが交付されます。消費者は、産直コンテナに表示されたマークにより、コンテナの農産物が循環型農産物と確認することができる仕組みです。

【問合せ先】

NPO 法人紫波みらい研究所(事務局)

電話 019-671-2244



産直コンテナに表示されるマーク

写真はえこ3堆肥マーク、ほかに

七木田ファーム、畠山畜産、武田養豚場、松原エスプリファームの堆肥マークあり



駅なかまち魅せプロジェクト始動！！

木のぬくもりあふれる「紫波中央駅待合室」において、「駅なかまち魅せプロジェクト」がスタートしました。

この事業では、NPO 法人風・波デザインと紫波中央駅にご縁のある団体の皆さんにご協力をいただき、誰でも参加できる市民参加型のギャラリーを目指して活動していきます。

現在は、NPO 法人紫波みらい研究所が平成16年度に実施した「環境探検隊」の写真をモデル展示しています。子どもたちがカメラを握り、自然の中で自分の感性で見つけたものにシャッターを切った、素敵な写真がたくさんあります。

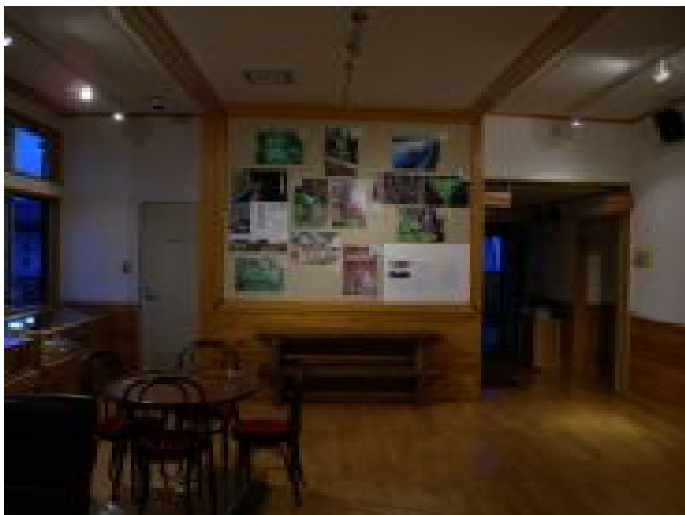
ぜひ、紫波中央駅にお立ち寄りください。

このギャラリーは、写真に限らず、さまざまな作品をとおして、紫波町にたくさんある魅力を表現する場、そして市民の皆さんへ広く発表する場として、皆さんにご活用いただきたいと考えています。

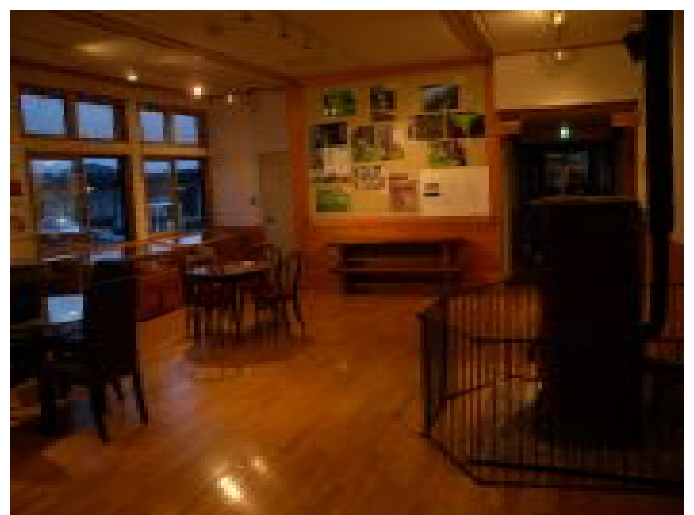
今後は、テーマに沿った公募を行いながら、月2回のペースで作品の展示を行っていきますので、作品の応募をお待ちしています。テーマについてのアイデアもどしどしお寄せください。

問い合わせ先：NPO 法人風・波デザイン

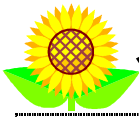
TEL/FAX 019 - 672 - 5917



展示した写真



夕暮れ ライトアップの写真



イベント情報 8月から9月まで

第4回親子日帰りキャンプ

8月9日(日)

時 間 10時～15時
 場 所 紫波町長岡農村公園
 (長岡小学校西側となり)
 内 容 テント張り教室
 親子工作とポップコーンづくり
 野外料理
 参加費 小学生以下 300円
 (保険含む) (満3歳まで)
 小学生 500円
 中学生 800円
 持ち物 軍手・おにぎり・飲み物・敷物
 締め切り 7月31日(金)
 主 催 岩手県キャンプ協会紫波支部
 問合せ 事務局 小笠原
 TEL 672-3833

どっこ舎 紫波ふるさとお話し

第3回 「菊池寿人と戦争観」

日 時 8月18日(火)
 時 間 19時～21時
 場 所 権三ほーる
 参加費 300円

第4回 「菊池寿人と郷里の人々」

日 時 9月29日(火)
 時 間 19時～21時
 場 所 権三ほーる
 参加費 300円
 申込み どっこ舎 TEL 676-2669
 権三ほーる
 TEL 676-5796

野村胡堂・あらえびす記念館イベント

セピア色の彦部 第2弾

日 程 ～8月16日(日)まで
 内 容 明治・大正・昭和初期までの写真
 企画展「たきびの詩人・巽聖歌展」

日 程 ～8月23日(日)まで
 内 容 多方面にわたる巽聖歌の業績紹介
 あらえびす文章講座 受講生募集

澤口たまみ先生の「エッセイコース」
 日 程 10/10、11/14、11/21、
 11/28、12/5の各土曜日

申込期間 9/1～9/20往復はがきで申込
 キッズフェスティバル 子どもたちが主役!

日 時 9月19日(土)13時～16時
 内 容 日詰小学校シャイニイ・メイツ、中
 陣大神楽保存会、紫波権現堂さんさ
 踊り保存会、大巻堤嶋神社例大祭山
 車、もちつき、出店など

伊藤恵子ピアノ教室発表会

日 時 9月26日(土)13時30分～

第2回野村胡堂・あらえびす記念館バスツアー

日 時 9月30日(水)9時～16時予定
 内 容 岩手大学で「胡堂と啄木」の講義
 講師：箱石匡行先生

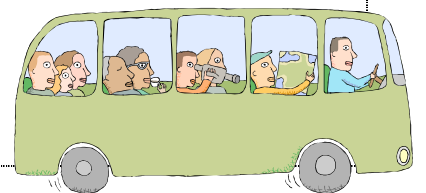
昼食後、岩大ミュージアム、植物園

料 金 2,300円(会員2,000円)

申 込 み 9月1日(火)から申込受付

定 員 25人

問い合わせ TEL
 676-6896



【編集後記】

めぐりっと紫波は、皆さまのおかげで2年目を迎えることができました。

今後も読者の皆さんからのおもしろい情報や暮らしのエコアイデアなども募集しています。

また、誌面の感想や意見もお寄せください。

めぐりっと紫波 編集協力団体

紫波トークセッション さくら製作所

今回は、平成21年9月頃の発行予定です。

